



授業形態	自校	他校	巡回
	個別指導		グループ指導

実態:小学校 低学年

・キ(例:キリンと子リンなど)、ケ(例:とけい→とていなど)の発音に誤りがある。

長期目標

・キ、ケなどのK音の正しい発音を身に付ける。  
・発音に気を付けて音読したり、話をしたりする。

通級での指導・支援

発音に気を付けて音読したり、話をしたりできるように

○ 自分の様子や気持ちを伝える。

- ・授業や休み時間にしたこと  
をワークシートに書き、発表  
する。
- ・グループ内でお互いに聞き  
合う。

どんなことをしましたか?おもいだしてかこう わすれたとき、わからないときは「?」や「X」と書いていいです		
① 1じかんめの べんきょう( )	😊	😞
	げんき	つかれた
どんな べんきょう?		
② 2じかんめの べんきょう( )	😊	😞
	げんき	つかれた

ワークシート 

○ 正しい発音を身に付ける。

- ・正しい音を聞き分ける。
- ・カラスのイラストを見て、カラスの鳴きまねをし、  
【ka】の発音を練習する。
- ・【ka】の発音を含む有意味語を、イラストカードを見て練習する。  
かめ、かに、かば、かげ、しか、さか、なか、いか等。  
『シリーズきこえとことばの発達と支援  
特別支援教育における構音障害のある子どもの理解と支援』  
『言語聴覚療法シリーズ7 改訂 機能性構音障害』より



○ 気持ちや体をほぐす。

- ・トランポリンを跳んだりバドミントンをしたりする。
- ・トランプなどのカードゲームをする。

通常の学級での指導・支援

- ・学級の子どもたちに、本児が K 音  
の発音について練習中であることを  
伝える。(2-5-1 参照)
- ・音読や会話につまったら、本児に  
はゆっくり、焦らずに話したり、肩  
の上げ下げなどして緊張をほぐす  
ように促したりする。他児にも静か  
に待つよう促す。

通級での変容

- \* カ行の発音を聞き分けられるようになって、正しく発音できることが増えた。
- \* 家族の中でも、会話をする際には兄弟たちから指摘されるのを気にしていた。そのため引っ込み思案だったが、練習して自分の思いを言えるようになってきた。

通常の学級での変容

- \* 授業中に挙手する機会が増えた。指名されても堂々と言えるようになってきた。



授業形態	自校	他校	巡回
	個別指導		グループ指導

## 実態:小学校 低学年

- ・サ行がシャ行に置換する。
- ・サ行の付く言葉を表記するときに、タ行と誤って書くことがある。

## 長期目標

- ・サ行の音を正しく発音できる。
- ・サ行の言葉について、ひらがなで正しく表記する。

## 通級での指導・支援

## サ行の音を正しく発音できるように

- 舌の体操をする。
  - ・舌の力を抜いて、平らな舌を作る。  
舌の上にポーロをのせて、30秒停止する。
  - 舌の上にポーロをのせて、前後左右に舌を動かす。  
舌の上に何も置かないで脱力した舌を作り、30秒停止する。
- 風の音のまねをする。
  - ・舌先と上歯茎裏の隙間から息を出す。  
舌先と上歯茎でストローを挟み、息を出す。  
ストローを挟んだまま息を吹き、紙製の的を倒す。  
ストローを挟んだ口形を保ったままストローを少し前へ出し、息を舌先と上歯茎裏の隙間から吹いて、ストローの笛を鳴らす。
- 【su】の構音練習をする。
  - ・【su】の単音練習をする。  
風の音(s)を出しながら、母音(u)を付け、【su】を出す。
  - ・「す」の単語練習をする。  
「す」と母音を組み合わせて、無意味音節の練習をする。(「すあ」「すい」…)
  - ・語頭・語尾・語中に「す」が付く単語を練習する。
- 「す」の音の弁別をする。
  - ・「す」の付く言葉を聞き取る。  
「す」と「しゅ」の付く言葉を聞いて、「す」の付く言葉が聞こえたら、「○」の札を挙げる。
  - ・「す」の付く言葉を探す。  
イラストを見て、「す」の付く言葉を探す。「す」の付く言葉を思い出して、書き出す。



紙製の的

## 通常の学級での指導・支援

- ・発音に誤りがあるために、練習中であることを周りの児童に知らせ、からかったり、指摘したりしないように理解を促す。(2-5-1 参照)
- ・正しい発音ができるときには、学級担任からもがんばりを認め、本児が正しく発話する意欲や自信をもてるようにする。

## 通級での変容

- \* 単音→単語→文章→音読と構音訓練が進み、会話中でもサ行の構音が改善してきた。
- \* ときどき表記の誤りが見られることもあるが、自分で気付いて訂正できた。

## 通常の学級での変容

- \* 自信をもって発表する姿が見られるようになった。



授業形態	自校	他校	巡回
	個別指導		グループ指導

## 実態:小学生

・一音一音の切れ目がなく、声が小さいなど不明瞭で聞き取りにくい話し方をする。

## 長期目標

・舌を滑らかに動かせるようになる。  
・大きな声で、一音一音(1モーラずつ)はっきり分かるように発声できるようになる。

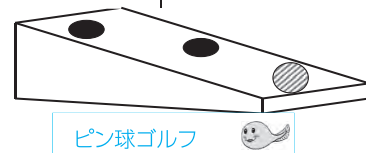
## 通級での指導・支援

## 舌を滑らかに動かせるように

- □の体操をする。  
□を大きく開けたり閉じたりする。あごの動きを感じられるよう耳の下に指を当てて行う。
- 舌の脱力練習をする。  
「アッカンベー」のように舌を出す。その時に舌に力が入って明太子のようになっている場合は、ぺたんこの舌になるように力を抜く。鏡を見ながら力を抜いた感覚を感じる。脱力できるようになれば、脱力した舌を出した状態で母音を言う。
- 舌先の体操1をする。  
左右の頬の裏を舌先で押す、左右の口角に舌先あてる、上唇・下唇を舌先で舐める、を繰り返し行う。
- 舌先の体操2をする。  
炭酸せんべいのような薄いせんべいの真ん中を舌先で舐めて穴をあける。舌先にラムネの粒をのせてそれを上前歯の裏に付け、その状態でスーッと息を出す。

## はっきり発音ができるように

- 「パ・タ・カ」の練習をする。  
・「パ」「タ」「カ」を大きな口を開けてゆっくりはっきり言う。できるようになってきたらスピードを速くする。  
・「パタカ」を一音一音の口形・舌の位置と動きを確認しながらゆっくり言う。はっきり言えるようになってきたらスピードを速くする。
- 息でピン球ゴルフをする。  
図のような穴の開いた斜面の下からピンポン玉を吹いて転がし、穴に入れる。息の強さや吹く長さを調整する。
- モーラすごろくをする。(サイコロの代わりに絵カードを使ったすごろく)
  - ①絵カードを四つの山に分け、裏向けにして置く。
  - ②選んだ山の一番上のカードを取る。その絵の名前のモーラ数だけ進む。例えば「救急車」の絵の場合は、「きゅ・う・きゅ・う・しゃ」と1モーラずつ区切りながらはっきりとした発音で唱えながら進ませる。



ピン球ゴルフ

## 通常の学級での指導・支援

- ・大きな声が出るような姿勢で音読や発表ができるようにする。
- ・「パタカ」など舌の動きを滑らかにする練習を学級のみんなで行う。
- ・教科書などを音読する場合、読むときの切れ目にスラッシュ(/)などを入れて読みやすくする。

## 通級での変容

\* 発音が明瞭になり、聞き取りやすくなった。

## 通常の学級での変容

\* 積極的に発言するようになった。



授業形態	自校	他校	巡回
	個別指導		グループ指導

## 実態:小学生

- ・会話や長文の音読で繰り返しや引き伸ばしが時々出る。
- ・会話や発表では、語頭音がつまって出てこないことがあり、手足を振ったり叩いたりというような随伴症状も加わる。

## 長期目標

- ・吃音について正しく理解し、自分の吃音と向き合えるようになる。
- ・発話の流暢性を高め、吃音の頻度を軽減する。

## 通級での指導・支援

## 吃音について正しく理解するために

- 会話練習を行う。
  - ・近況の出来事や言葉の調子について話し合うことにより、安心して話せる環境をつくり、発話意欲を高める。
- 吃音理解のための学習をする。
  - ・吃音についての絵本を読んだり、吃音に向き合うためのドキュメンタリー映像集を見たりして、吃音について正しく理解し、自分の吃音と向き合う。

## 吃音の頻度を軽減するために

- 発話練習を行う。
  - ・腹式呼吸の練習＝体全体の力を抜き、ゆっくりと口から息を出しきり、ゆっくりと鼻から息を吸うことによって、深い呼吸ができるようにする。自分で意識的に呼吸を整えることができるようにする。
  - ・軟起声を出す練習＝のどの力を抜き、軟起声(やわらかい声)で、長く安定した声出しができるように練習する。
  - ・単語を言う練習＝深く息を吸って、第一音をそとやわらかく声を出す。第一音から第二音への移行はややゆっくりと引き伸ばし気味で言うが、その後は通常で言う。単語全体を軟起声で言う。単語練習ができたら、句→文章と練習する。
- 音読練習＝軟起声でゆっくりと読む。
  - ・句読点までは、なるべく一息で続けて読む。やや引き伸ばし気味で読む。

## 通常の学級での指導・支援

- ・全教職員が吃音について正しく理解をする。
- ・学年当初に、本児の吃音についての説明をどのようにしていくか、本児や保護者、通級担当教員と話し合い、よりよい環境調整を行う。(2-5-1 参照)
- ・発表や音読、号令や話し合いなどの吃音が出やすい場面で、本児が困っていることがないか尋ね、吃音への配慮について、事前に話し合っておく。
- ・吃音には波があるので、言葉の調子に合わせて、適切な配慮を本児に確認する。
- ・学級全体で人の話をゆったり聞く態度を育て、安心して話せる環境づくりをする。

## 通級での変容

- \* 呼吸のコントロールができるようになり、発表などの前に緊張を和らげることができた。
- \* 軟起声でゆっくり読むことができ、長文でも、吃音が出にくくなった。
- \* 吃音について正しく理解することにより、学級の友だちに自分の吃音について話すこと(自己開示)ができ、自己肯定感を高めることができた。

## 通常の学級での変容

- \* 積極的に学習や学校行事に参加できるようになった。
- \* 友だちとの関係が、より良好になった。



授業形態	自校	他校	巡回
	個別指導		グループ指導

実態:小学校 低学年

- ・立位や座位が保てず、机にもたれかかったりゴソゴソと動いたりする。
- ・ぶつかったり転んだりすることがよくある。
- ・追視や運筆など、運動全般に不器用さがある。

長期目標

- ・自分の体の部位に気付き、良い姿勢を保つことができる。
- ・指示されたとおりに動くことができる。

通級での指導・支援

通常の学級での指導・支援

動く ↔ 止まる      速く ↔ ゆっくり

手      全身      左右同じ → 左右違う

足

見る      考える → 動く

聞く

**ケンケンパ**  
リズム良く、止まらずに跳んでみよう。  
「パ」のところでピタッと止まってみよう。

**リラックス(漸進性筋弛緩法)**  
仰向けで全身に力を入れた後、一気に力を抜いてみよう。  
そのまま体を動かさずにじっと寝られるかな？

**まねっこポーズ**  
手だけ、足だけ、手足同時に。  
左右ばらばらのポーズもまねてみよう。

**くま歩き**  
左右ばらばらでも上手に動かして、手足で4足歩行してみよう。  
一本橋から落ちないようにくま歩きができるかな？

**一本橋**  
落ちないように、一步一步ていねいに歩こう。

**色板ジャンプ**  
先生が言う色を聞いて、すぐにジャンプ移動しよう。  
何色が聞いて覚え、順番通りに思い出してジャンプで移動できるかな？

**ぬいぐるみキャッチ**  
ぶら下げたぬいぐるみを揺らすから、自分の前にきたら両手でキャッチしよう。

**色板渡り**  
くま歩きで、赤の色板だけを通って渡りきろう。

・通級での取り組みを参考に、体育の時間に感覚統合の視点を取り入れたサーキット運動を行い、体幹を鍛える。

通級での変容

- \* 「動く」と「止まる」のメリハリが付けられるようになった。
- \* リズム感が良くなった。
- \* 手足がばらばらの複雑な動きができるようになってきた。
- \* 見たり聞いたりしてから行動に移るまでの時間が短くなった。

通常の学級での変容

- \* 授業の始めと終わりの挨拶で起立したときに、まっすぐ立てるようになった。
- \* 友だちとぶつかることが少なくなった。
- \* 机の上の物を落とすことが少なくなった。



感覚

2-3-2

うまく手先を使えるようになったよ

授業形態	自校	他校	巡回
	個別指導		グループ指導

### 実態:小学校 低学年

- ・文字をマス目に収めることが難しい。
- ・ひも結びなどの作業が難しく、自分ではできない。

### 長期目標

- ・指先での細かな操作ができる。
- ・マス目に収まる大きさの文字を書くことができる。

### 通級での指導・支援

#### 指先での細かな操作ができるように

- 指先を動かす速さを調節する。
  - ・[スティッキー]
  - ・[パリナ]

棒を そっとぬいてね。



スティッキー



パリナ

- 道具を使って細かい作業をする。
  - ・ペーパークラフト
  - ・[クラッシュアイスゲーム]
  - ・[アイスクリームタワープラス]

ペンギンを落とさないように  
流水を落とそう。



クラッシュアイスゲーム



アイスクリーム  
タワープラス

#### マス目に収まる大きさの文字が書けるように

- 運筆練習をする。
  - ・点つなぎ
  - ・迷路
  - ・『漢字の基礎を育てるワークシート』
  - ・『けっしょほかん』

手本をよく見て、同じ模様にしよう。



けっしょほかん

### 通常の学級での指導・支援

- ・[鉛筆の音を聞いて書く]ことを意識させる。
- ・指の体操をしてから書かせる。

### 通級での変容

- \* 指先の感覚を確かめながら、棒や道具を扱うようになった。
- \* 鉛筆をゆっくり動かすことができるようになった。

### 通常の学級での変容

- \* 慌てて書くことが減り、読みやすい文字を書くことができたようになった。
- \* 細かいミスによる漢字の間違いが減った。
- \* 丸くなりがちだった「折れ」をしっかりと角張って書くことができたようになった。